

# E-11 集合住宅地の管理に関する研究 - (3) - 駐車場設置問題について

奈良女大家政 ○西村一朗 扇田信 足田洋子 今井範子 吉田洋子  
京都府大家政 町田玲子

目的 集合住宅地で駐車場設置がすすむと、緑・空地の減少，住棟への車接近による騒音，排気がス等の増大がすすむ。そのため駐車場増設が単純にはすすまない訳である。そこで，それに関する管理者と居住者(自動車保有者と非保有者)の考え方を明らかにし，今後の駐車場設置，管理の資料とする。

方法 出発点において駐車場を持たず，隣棟間などに空地を相対的に多く確保していた住宅公園香里団地を調査地域とし，駐車場設置過程，方針については管理者に，駐車場増設にかかわる意見・意識については居住者に，それぞれ聞き取り，アンケートで調査した。

結果 まず，設置過程，方針の概要は①当初(昭33~40)0台分が，現在(昭51)1,100台分(賃貸4,881戸に対し22.5%)と増大。②当初，団地周辺の民間駐車場使用を訴えたが，不便，高料金でやむをえず団地内。③経営，維持はKK団地サービスが行っている。④使用料金は設置時期により3段階(昭45.12以前2,200/月；昭45.12~昭49 3,000/月；昭50~5,000/月)⑤それが地代の二重取りでは，という疑問に対し(1)使用者はそこを専用(2)料金収入の一部を団地全体へ還元，で説得。⑥設置場所は，住棟への影響等を考え，まず妻側，つづいて北側，やむをえず他の空地という順で工夫。⑦設置単位は，枚方市条例により，いままでのところ一ヶ所20台未満一など。一方，居住者の意見を考察すると，①自動車保有者と非保有者(約2:3の比)では当然意見が分かれ②意見としては，必要分全面設置，条件付設置，現状維持，かえって縮小，より大きな問題系(公共交通の充実等)への押し返し，までみられ③保有者は前者に，非保有者は後者に多く④保有者，非保有者とも生活における自動車の重みにより意見がわかる一など。